

プラスアルファ

Re START～自分たちの手で歴史を変えろ～

2024年 2月14日発行 No.403

常任委員 高橋 昌寛
ジェイアール四国バス高松

今回の作成担当

JR四国労組
LINE公式アカウント



友達募集中



2024年1月27日(土) B&G 海洋センター体育館(高松市)にて「冬季レクリエーション2024」が開催されました。冬レクでの運動会は8年ぶりの開催となり、四国各地から35名の組合員が集まり仲間たちと交流を深めました。5チームに分かれ、【チャンバラ】【サイレントものまね】【風船割り】【紙飛行機飛ばし】【利きじゃがりこ】【長縄跳び】【種目リレー】の7種目に挑みました。最初は会話が少なかったチームもありましたが、競技を通して絆を深め笑顔で終わる事ができました。



チャンバラ



目隠しされた状態で身体を回転させ、チームメイトの指示に従い相手を先に叩いた方が勝ち！とシンプルなルール。1度しかチャンバラを振ることができないので指示を聞き逃さぬよう耳を澄ませるも、聞き慣れない声のためか、この声は敵なのか？はたまた味方なのか？区別がつかず、チャンバラが空を切るチームが続出。仕切り直しも多くありましたが、中には鏢迫り合いを繰り広げる熱い場面も見えました。

サイレントモノマネ

お題を身体の動きだけで再現！サイレントでチームメイトに伝える事ができるか？！表現力と発想力の戦い！

各々、身体全体を使った動きで順調にポイントを稼いでいく中、必死に表現するものの、中々伝わらない、、、

マスクからこぼれる笑みは楽しい時間のおかげか、それとも羞恥心によるものなのか、3分間に及ぶ静かな激闘が体育館で繰り広げられました。

風船割り

風船を膨らませて割るだけ！以上！

個人の最速タイムは「3秒06」！

2位とは約4秒差をつけて堂々の1位でした。

大きな破裂音にも動じず、無我夢中で風船を割りました！



紙飛行機飛ばし

己の培ってきた技術を 21cm×30cmの画用紙に叩き込み、白紙を自分色に染め上げ誰よりも高く、誰よりも遠く飛ばした者を決める競技。

天気は良好、無風による絶好のフライト日和、このB&G海洋センター体育館という大空を舞う時はまだかまだかと、挑戦者達の熱気による上昇気流が発生し不思議では無い空気に包まれたところで第1隊が発進準備にかかる。所定の位置につき固唾を飲んで合図を待つ隊員たち、静寂の中ついにリーダーの合図により各自発進！大空へと！機体が、、、、飛ばない。

長方形の画用紙と紙飛行機の相性はここまで悪いかと知らされ、体育館30mなど優に超すだろうと考えていたがなんと皆10m付近で落ちる。個人優勝は17m30cmと秀でた才能を見せつけられました。最下位は20cmと自分の機体に30m先の壁ではなく、そっぽを向かれてしまう結果となりました。

利きじゃがりこ

隠された状態で3種のじゃがりこを食べ、味を当てるゲーム。嗚呼、過去に舌の上を通り過ぎたこの味はきっとこれだと記憶を頼りにペンを走らせる。「関西風おだし」「ラー油チキン」「たらこバター」と味覚だけで判断するのは素人に酷な味達でした。部分点を取りに行くチームもあり完全回答は1回だけと、Calbeeのセンスに負けてしまう結果となりました。



長縄跳び



運動とは無縁の日常を過ごしている我々現代人には過酷な競技、ついにやってきてしまった長縄。小学生時代ただ跳ぶ事だけに集中し筋肉痛なんて言葉は辞書に載っていなかった頃以来ではないでしょうか？各チームの掛け声とシューズ音が体育館を揺らし、白熱した試合が行われました。



最後は種目リレーとして、「風船空中ドリブル」「スリッパ」「ぐるぐるバット」「おんぶ」のそれぞれの種目をチーム一丸となって1位を目指しました！結果、種目リレーの順位がトータル順位を覆す結果となりました！

種目リレー



まとめ

初対面の参加者が多く、最初はうまく話せずにはいましたが、同じ目標を目指して身体を動かしていくうちに自然と笑顔になっていき、最後は支部や職場、ひいては会社の垣根を越えた友好関係を築き上げ無事に終わることができました！

参加者のからは「楽しかった」「友だちが増えた」「また参加したい」などの声をいただき皆さん満足して頂けたようでスタッフも嬉しく思いました！今後も様々なレクや学習会などを行いまで皆参加をお待ちしております！

